

指示書

## コンセンサス実習「教師として大切にしたいこと」

### 【ワークのねらい】

- 自他の違いを受け入れ、組織で話し合う際に大切なことを知るきっかけとする。
- 組織の中での自分の役割や他の人のよさに気付く。

### 【ワークの流れ】

- ① 研修のねらいの説明〔2分〕
- ② アイスブレイキング – 「実は私は…」で自己紹介ー〔3分〕
- ③ ルールと手順の説明〔5分〕
- ④ 実習の実施〔25分〕
- ⑤ 各グループの結果発表〔5分〕
- ⑥ 実習の振り返り〔20分〕

### 《コンセンサスにより集団意思決定する際の留意点》

複数での話し合いでは、特定の司会者を決めず、多数決、じゃんけん、平均値をだし  
てみる、などではなく、全員の合意が得られるよう話し合いによる決定をすることが大  
切です。

- ア お互いに納得できるまで話し合う。自分の意見を変えるときには、他のメンバーに  
もその理由が明らかであることが必要である。
- イ 自分の判断に固執し、他に勝つための論争は避ける。
- ウ 決定をするのに、取り引きをすとか、安易な妥協をすといったような葛藤を避  
ける話し合いはしない。
- エ 少数意見は、考え方の幅を広げてくれるものとして考えてみる。
- オ 論理的に考えることは大切であるが、それぞれのメンバーの感情やグループの動き  
にも、目を向ける。